

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095175001	科目番号 / Course code	10951750
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10011_421		
授業科目名 / Course title	教職の理解[-2020] / Understanding of the Role of Teacher		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	榎 景子 / Enoki Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	榎 景子 / Enoki Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	榎 景子 / Enoki Keiko		
科目分類 / Course Category	教職に関する科目, 教職に関する科目(第2欄), 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・2欄, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館1F第11講義室 / Room 11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	enoki@nagasaki-u.ac.jp (榎)		
担当教員研究室/Office	教育学部研究棟221号室(榎)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールに学籍番号・氏名・用件を記載の上、アポイントメントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日の急激な社会変化の中で、学校教育をめぐる様々な教育課題に適切に対処しつつ充実した教育指導を実現するためには教員の資質向上が必須である。本授業においては、そのような教職の意義についての理解を深め、学校における教師の役割について考察し、その役割を効果的に遂行するために必要な資質について考える。		
授業到達目標/Course goals	<p>教育学部の最初の入門科目として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児・児童・生徒の発達段階に応じて適切な指導ができる。 ・ 教職や教科に関する専門的知識・技能を身につけている。 ・ 社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。 <p>についての第一歩となることをめざします。</p> <p>教職についての全体像を表明できること。 現代の児童生徒の実際について表明できること。 現代の教育課題について表明し、自ら探究できること。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各回の小レポート等、各教員が指示する方法で評価し、その総合点で判断する。 60点以上が合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習 各回に関して、自らの教育体験を振り返り、そこに教員がどう関わっていたか思い出しておく。(2h) 事後学習 各回に関して、自らの教育体験を教員の視点で振り返り、理解を深める。(2h)		
キーワード / Keywords	教師、専門職、学校経営、教育課題		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜資料を作成し配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	学ぶ側から指導・支援する立場に思考や視点を180度切り替えるための科目です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	西村大介 / 学校現場（特別支援学校）及び教育行政での勤務経験 / 特別な教育的支援が必要な児童生徒に関わった経験を活かし、学校現場での課題への対応を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（授業の趣旨・概要の説明）
第2回	現代の子どもの実態
第3回	教職の実際：専門職としての教師
第4回	教職の実際：組織としての学校
第5回	教員の採用と研修
第6回	シリーズ学校経営の実際（附属特別支援学校の取組）
第7回	シリーズ学校経営の実際（附属中学校の取組）
第8回	シリーズ学校経営の実際（附属幼稚園の取組）
第9回	シリーズ学校経営の実際（附属小学校の取組）
第10回	シリーズ学校経営の実際（教育行政の仕組みと役割）
第11回	シリーズ教育活動を考える（不登校児童生徒への対応と「いじめ」問題）
第12回	シリーズ教育活動を考える（子ども理解と子ども支援のあり方）
第13回	シリーズ新しい教育課題（特別支援教育の実際と課題）
第14回	シリーズ新しい教育課題（同僚性：グループワークを通じて）
第15回	先生になろう（模擬授業・場面指導のロールプレイング）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20201095180001	科目番号 / Course code	10951800
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10091_421		
授業科目名 / Course title	子ども教育論 / Childhood Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	脇 信明 / Nobuaki Waki		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館1F第11講義室 / Room 11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nobuwaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	225		
担当教員TEL/Tel	095-819-2388		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~木 昼休み 月曜日2限目 木曜日2限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	幼児、児童および生徒の発達や学習の過程とその特徴等について理解する。		
授業到達目標/Course goals	・ 幼児、児童および生徒の発達過程における心理的特徴を理解することができるようになる (2) ・ 幼児、児童および生徒の発達をふまえた学びの特質と指導についての基本的理解することができるようになる (1)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の項目による総合評価 各授業終了時に実施するライティングの記述内容・・・20% レポート課題・・・30% 学習内容確認テスト・・・50% レポートについては、記述内容を重視するが、規程量の3 / 4程度未満の者、レポートの趣旨から外れているもの、その他不正なレポートには点数はないので留意すること。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 各授業のテーマに関連した内容について書籍等 (1h) 復習: 授業内容については次回授業時に確認を行うため、その内容の理解を深める学習に取り組むこと(1h)		
キーワード/Keywords	幼児, 児童, 発達, 学習, 学び, 資質・能力の育ち		
教科書・教材・参考書/Materials	○テキスト 適宜プリントを配布するものとする。 ○参考書 内藤佳津夫ほか編『発達と学習』, 奈須正裕『資質・能力と学びのメカニズム』		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	授業のオリエンテーション 子どもの成長・発達と教育との関わり
2	胎児期から乳児期の発達の特性と理解
3	幼児期前期の発達の特性と学びの理解
4	幼児期後期の発達の特性と学びの理解
5	児童期の発達の特性と学びの理解
6	青年期の発達と学びの理解
7	子どもの成長・発達と資質・能力の育ち
8	これまでの授業のポイントまとめ, 筆記試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095524601	科目番号 / Course code	10955246
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10081_181		
授業科目名 / Course title	環境教育 / Environmental Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
科目分類 / Course Category	教科又は教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目, 学部共通科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	学部 2, 3, 4 年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hoshino@nagasaki-u.ac.jp, n-fuji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	本館415室 (星野), 美術・技術棟111室 (藤本)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2332 (星野), 095-819-2360 (藤本)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日, 火曜日以外の昼休み (星野), 在室時は常時可 (藤本)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	学校教育における環境教育の意義を踏まえた後, 環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え, 具体例として環境要因がどのように環境や人間に影響を与え, 社会が, それをどのように扱って行けば良いのかを自らの調査を基に考え, 発表する。また, ドイツの環境と社会との関わりを多角的に調べ, 日本の環境教育のあるべき姿を探る。環境教育の導入となる科目である。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育における環境教育の意義を述べるようになる。 2. 環境基本法の基本理念と各主体の役割を説明することができるようになる。 3. ドイツの環境保護・保全への取り組みを例を挙げて説明することができる。 4. 地球温暖化, 大気汚染, 水質汚濁, 化学物質による人・環境への影響, 生態系保護・生物多様性, エネルギー問題, 原子力発電・放射線, 廃棄物処理 (ごみ処理問題) などについて内容の説明ができるようになる。 5. 4の内容を学校でどのように展開するのか, 自分なりの方法を見出し説明できるようになる。 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中の小テスト作成, 課題レポート, 発表, 定期考査を行って評価する。評価割合は, 定期考査 50%, 小テスト案 20%, 課題レポート 20%, 発表 10% とし, 総合点で評価する。合格基準は, 総合点で 60% 以上とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>環境に関する新聞記事を事前に調べておくこと。</p> <p>【予習】テーマについて必須学習事項を調べ, かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと, 活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h)</p> <p>【復習】テーマについての必須学習事項に関する小問題の作成を行い, 復習しておくこと。(2h)</p>		
キーワード / Keywords	環境基本法, 環境基準, 化学物質のリスク, ドイツの環境事情, 環境教育, 地球温暖化, エネルギー問題, 大気汚染, 生物多様性, 生態系保護, 水質汚濁, 原子力発電, 放射線		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>参考書 1: 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会</p> <p>参考書 2: 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 くらしの安全科学」共立出版</p> <p>主要紙, 地方紙の環境に関する新聞記事</p>		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	環境教育に興味関心の高い人を望む。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	10月中は、受講者が確定しないためオンライン授業で実施します。11月からは受講者数と教室の収容人数との兼ね合いで対面授業となるかオンライン授業になるかが決まりますので、この授業の時間帯はアルバイトなどを入れずに空けておくこと。 課題プリントの作成と各回の班内での議論と取りまとめを真摯に行うこと。学校現場で子どもたちに何を伝え、どのような活動を行なわせる（あるいは自主的な取組みに導く）には何が必要かを念頭に置いて、授業に取組んで欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【10月中はオンライン授業。11月からは対面授業になる可能性あり。授業時間帯にアルバイト等を入れないこと。】 （藤本）オリエンテーションとイントロダクション。 学校教育と環境教育の違い 【予習】学校教育と環境教育について調べておくこと。(2h) 【復習】
第2回	（藤本）学校教育と環境教育の違い
第3回	（藤本）環境教育の授業構成
第4回	（藤本）ESD（持続発展教育）
第5回	（藤本）ESD（持続発展教育）
第6回	【11月からは受講者数により対面授業となる可能性あり。】 （星野）オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリントを課す。 【予習】日本の公害の歴史、日本の環境に関する法規、環境基準について学習しておくこと。(2h) 【復習】授業内で行った演習プリントについて復習するとともに関連する公害事例を調べること。(2h)
第7回	（星野）本授業で取り上げる8つのテーマを選定する。テーマごとに班を編成し、発表順を決める。星野から環境法規及びドイツの環境事情に関するプレゼンテーション（45分程度）。 【予習】受講者自らが興味を持つ環境問題を挙げ、取り上げた理由とその内容を説明するプリント課題を行っておくこと。テーマ選定のため予めLACS上に挙げている環境問題別の資料を読んでおくこと。(2h) 【復習】日本の環境に関する法規、環境基準及びドイツの環境事情について復習しておくこと。(2h)
第8回	（星野）テーマ1（例えばエネルギー問題）について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ1に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの（ホワイトボード）を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。 【予習】テーマ1（例えば、エネルギー問題）について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h) 【復習】テーマ1（例えば、エネルギー問題）についての必須学習事項に関する小問題の作成を行い、復習しておくこと。(2h)
第9回	（星野）テーマ2（例えば生物多様性・絶滅危惧種）について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ2に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの（ホワイトボード）を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。 【予習】テーマ2（例えば、生物多様性、絶滅危惧種）について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h) 【復習】テーマ2（例えば、生物多様性、絶滅危惧種）についての必須学習事項に関する小問題の作成を行い、復習しておくこと。(2h)

第10回	<p>(星野) テーマ3 (例えば地球温暖化) について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ3に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。</p> <p>【予習】テーマ3 (例えば、地球温暖化) について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h)</p> <p>【復習】テーマ3 (例えば、地球温暖化) についての必須学習事項に関する小問題の作成を行い、復習しておくこと。(2h)</p>
第11回	<p>(星野) テーマ4 (例えばゴミ問題) について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ4に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。</p> <p>【予習】テーマ4 (例えば、ごみ問題) について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h)</p> <p>【復習】テーマ4 (例えば、ごみ問題) についての必須学習事項に関する小問題の作成を行い、復習しておくこと。(2h)</p>
第12回	<p>(星野) テーマ5 (例えば大気汚染) について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ5に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。</p> <p>【予習】テーマ5 (例えば、大気汚染) について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h)</p> <p>【復習】テーマ5 (例えば、大気汚染) についての必須学習事項に関する小問題の作成を行い、復習しておくこと。(2h)</p>
第13回	<p>(星野) テーマ6 (例えば諸外国の環境事情) について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ6に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。</p> <p>【予習】テーマ6 (例えば、諸外国の環境事情) について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h)</p> <p>【復習】テーマ6 (例えば、諸外国の環境事情) についての必須学習事項に関する小問題の作成を行い、復習しておくこと。(2h)</p>
第14回	<p>(星野) テーマ7 (例えば水質汚濁) について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ7に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。</p> <p>【予習】テーマ7 (例えば、水質汚濁) について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h)</p> <p>【復習】テーマ7 (例えば、水質汚濁) についての必須学習事項に関する小問題の作成を行い、復習しておくこと。(2h)</p>
第15回	<p>(星野) テーマ8 (例えば放射線・原子力発電) について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ8に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。</p> <p>【予習】テーマ8 (例えば、放射線・原子力発電) について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べるプリント課題を行っておくこと。(2h)</p> <p>【復習】テーマ8 (例えば、放射線・原子力発電) についての必須学習事項に関する小問題の作成を行い、復習しておくこと。(2h)</p>
第16回	定期試験(テーマ1からテーマ8に関する知識とそれを活用した学校における授業実践について)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 選択必修 / required, elective, required/elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095530701	科目番号 / Course code	10955307
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10071_422		
授業科目名 / Course title	国際理解教育論 / Introduction to the Theory of International Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	榎 景子 / Enoki Keiko, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	榎 景子 / Enoki Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	榎 景子 / Enoki Keiko, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
科目分類 / Course Category	教科又は教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	enoki@nagasaki-u.ac.jp (榎)		
担当教員研究室 / Office	教育学部研究棟221号室 (榎)		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールに氏名・学籍番号・用件を明記の上、アポイントメントを取ること。(榎)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	諸外国の教育や学校の様子を知り、日本と異なっている部分があるのかについて、社会背景を含めて考えます。 またいくつかの国や地域については詳細に学習し、制度にとどまらず実際の部分についても考え、理解を深めていきます。 同時にこうした学習を通じて、日本の教育の特徴を考えるとともに、日本の中にも言語や文化をめぐる様々な問題があることを知り、解決策を探っていきます。		
授業到達目標 / Course goals	1. 諸外国の教育や学校の様子や、そうした状況が生み出される背景を理解できる。 2. 日本においても言語や文化をめぐる問題があることを理解できる。 3. これらを踏まえて、日本の教育や学校の特徴を把握し、日本の教育について考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各担当教員の成績評価の方法・基準は、それぞれの授業開始時に説明を行います。最終的な成績は、2名の教員が出した評価から総合的に判定します。 榎: 各回の小レポートの内容から判定します		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習 外国の教育や日本の国内における多様な教育について、調べておく(2h) 事後学習 授業で学んだことが、今後、学生・教員としてどのように生かせるか、検討する(2h)		
キーワード / Keywords	諸外国の教育、内なる国際化		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しません。参考書は授業中に適宜紹介します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特にありません		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	あいさつ、掃除、授業風景、掲示物...日常の学校空間での「あたりまえ」ひとつひとつが本当に「あたりまえ」なのが、意識しておきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	N
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション
2	諸外国の教育が共通して抱えている課題
3	同じ目的、異なる方法（教育制度からみえてくるもの）
4	同じ目的、異なる方法（カリキュラムからみえてくるもの）
5	同じ方法、異なる目的（各国の教育実践をめぐって1）新しい教科への対応
6	同じ方法、異なる目的（各国の教育実践をめぐって2）改革への対応
7	国境を越える子どもたち
8	海外にある学校と日本にある学校
9	国際理解教育の実践前提（1）- 東アジアにおける「知」の国家戦略とナショナル・カリキュラムデザイン
10	国際理解教育の実践前提（2）- 「内なる『知』」と「外への『知』」：アイデンティティとコンピテンシー
11	国際理解教育の実践（1）- 歴史教育対話：初等教育における「エティック」と「イーミック」の取り扱い
12	国際理解教育の実践（2）- 初等教育における「トランスナショナル・リテラシー」の授業デザイン
13	国際理解教育の実践（3）演習：総合的な学習の時間「国際理解」を想定したロールプレイ（模擬授業）
14	事例研究（外国の教育を知ること）
15	学生として私たちができること、できないこと

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095532401	科目番号 / Course code	10955324
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10101_424		
授業科目名 / Course title	地域社会と教育 / Community and Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 内野 成美 / Utino Narumi, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 畑中 大路 / Taiji Hatanaka, 脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 内野 成美 / Utino Narumi, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 畑中 大路 / Taiji Hatanaka, 脇 信明 / Nobuaki Waki		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, 教職関連科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	(代表) 吉田ゆり yuyoshida@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	(代表) 吉田ゆり 教育学部220研究室		
担当教員TEL / Tel	(代表) 吉田ゆり 095-819-2394		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日お昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本科目は、本学教員の基礎的理論に関する講義と地域で活躍する人材からの非常勤講師の講話により具体的な活動を学ぶ、ふたつのスタイルによって構成される。 第2回から第5回までは、生涯学習的視点から地域社会における教育的活動について学ぶ。第6回から第8回までは、社会福祉と学校教育とのつながりについてテーマとし、第9回から11回までは、市民社会の形成意識についてテーマとし、第12回から14回までは、社会参加と教育並びに介護等体験の基礎についてテーマとし、第15回(最終回)にまとめ(これからの社会参画について)を行う		
授業到達目標 / Course goals	子ども達の多様な学びの場について、学校教育と地域社会のつながりを理解し、具体的な活動例を学ぶことで生涯学習的視点を身につけることができるようになる。その上で、教育と深くつながりを持つ社会福祉の基礎的な理解と活動例を学び、さらに自らが市民として社会に参画する上での意識を形成することができる。また、実際に社会参加する際の心構えや具体的な方法を、介護等体験実習の基礎的知識としてもち、介護棟体験学習に望むことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	ゲストスピーカーがある場合には振り返り用紙(小レポート)7点 6回=42点として全体の約40%、最終レポートを58点満点で全体の約60%とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、各回のテーマになっているこれまでに経験した生涯学習参加を思い出し、新聞記事、各行政が発行する広報誌、各メディアや団体が発行するミニコミ誌などにも積極的に目をつけることメモでよいので言語化して望むこと(2h)。 事後学習としては、地域資源としての社会福祉施設、生涯学習施設に目をつけ、それぞれが自発的に活動に参加することができることを望む(2h)。		
キーワード / Keywords	生涯学習 家庭教育 公民館活動 通学合宿 社会福祉 司法 シティズンシップ ボランティア 介護等体験		

教科書・教材・参考書/Materials	適宜指示する。 参考資料：新聞記事、各行政が発行する広報誌、各メディアや団体が発行するミニコミ誌などにも積極的に目を向けること。 基礎的資料：小学校学習指導要領及び解説、中学校学習指導要領及び解説、特別支援学校学習指導要領及び解説、幼稚園学習指導要領及び解説
受講要件（履修条件）/Prerequisites	必修授業のため履修条件無し
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	学校教育と生涯学習は、一見関係が見えにくいですが、実は密接に関連しています。この授業を通して地域に目を向け、自分が市民としてどう生きるか・何ができるのかを考えて生活して欲しいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(吉田)
第2回	生涯学習(1) 生涯学習と学校教育(畑中)
第3回	生涯学習(2) 生涯学習と家庭教育(畑中)
第4回	生涯学習(3) 行政施策における具体例 青少年育成・公民館活動など(GS/畑中)
第5回	生涯学習(4) 行政施策における具体例 読書活動、体験学習、通学合宿など(GS/畑中・内野)
第6回	社会福祉と教育(1) 教育とつながる社会福祉の基礎(脇)
第7回	社会福祉と教育(2) 教育とつながる社会福祉の具体例 (GS/脇)
第8回	社会福祉と教育(3) 教育とつながる社会福祉の具体例 (GS/脇・内野)
第9回	市民社会の形成意識(1) シティズンシップ教育の基礎(吉田)
第10回	市民社会の形成意識(2) ボランティアとしての社会参画 (GS/吉田)
第11回	市民社会の形成意識(3) ボランティアとしての社会参画 (GS/吉田)
第12回	社会参加と教育(1) 介護等体験の基礎(石川)
第13回	社会参加と教育(2) 介護等体験の実際 高齢者施設など(吉田)
第14回	社会参加と教育(3) 介護等体験の実際 児童福祉施設(児童養護施設や障害児者入所施設など)(吉田)
第15回	まとめ 地域社会と自分、地域社会と教育、のつながりについて

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095533801	科目番号 / Course code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Course title	専門ゼミナール[国語] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前田 桂子 / Keiko Maeda, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 吉良 史明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	前田 桂子 / Keiko Maeda, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 吉良 史明		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	中学国語一年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kmaeda@		
担当教員研究室 / Office	教育学部624研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>中学校国語専攻の学生が2年次以降において、スムーズに専門科目に入っていけるように、その準備的な内容の指導助言を行う。</p> <p>国語学・古典文学・漢文学研究の基礎を学ぶ授業である。まず、漢文学に関する基礎的な知識・手法を学び、古典文学を変体仮名で読解する訓練を行い、国語資料の扱い方を行う。併せて、大学の講義を受講するに当たっての必要最低限の知識・手法等を学ぶ。これらの位置づけは、あくまで専門科目への入門科目としてである。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1, 漢文学に関する基礎的な知識を身につける。 2, 国文学に関する基礎的な知識を身につける。 3, 国語学に関する基本的な知識を身に付ける。 4, 2年次以降の講義等に対処できる準備的能力を身に付ける。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>試験・・・60%</p> <p>授業への意欲・授業態度・・・40%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	分野毎に担当教員が指示する。各学習の時間の目安は、事前学習各回2時間、事後学習各回2時間程度とする。		
キーワード / Keywords	入門科目 漢文学 漢文の基礎 国文学 読解 国語学 変体仮名(崩し字 読解)		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント対応する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	まだ専門的知識を得ていない段階にあること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp なお、それぞれの分野において、学習に必要な基本的な手段を概説する
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	基本的で、国語科の学生ならば、誰でも理解出来、積極的に楽しみながら出来る作業でもあるので、是非自信を持って取り組んで欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	漢文学分野の基礎 1
第2回	漢文学分野の基礎 2
第3回	漢文学分野の基礎 3
第4回	漢文学分野の基礎 4
第5回	漢文学分野の総括
第6回	古典文学分野の基礎 1
第7回	古典文学分野の基礎 2
第8回	古典文学分野の基礎 3
第9回	古典文学分野の基礎 4
第10回	古典文学分野の総括
第11回	国語学分野の基礎 1
第12回	国語学分野の基礎 2
第13回	国語学分野の基礎 3
第14回	国語学分野の基礎 4
第15回	国語学分野の総括

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095533802	科目番号 / Course code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Course title	専門ゼミナール[社会] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	土肥 大次郎 / Dohi Daijiro, 永田 聖二 / Nagata Seiji, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 池谷 和子 / Kazuko Ikeya, 飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi, 田口 由香, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	土肥 大次郎 / Dohi Daijiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	土肥 大次郎 / Dohi Daijiro, 永田 聖二 / Nagata Seiji, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 池谷 和子 / Kazuko Ikeya, 飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi, 田口 由香, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第33講義室 / Room 33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年中学社会		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ddohi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館 6階 608 番研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日 4校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	歴史学, 地理学, 経済学, 法律学, 倫理学, 社会科教育など, 社会科に関連する基礎的な知識を学び, さまざまな角度から社会を考察する方法を会得する。 社会科系の本の内容を適切に要約することができる。		
授業到達目標 / Course goals	社会科教育に関連する諸分野の一面を理解する。社会科系の本の要約ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各分野の試験またはレポート60点 本の要約発表とレポート40点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	本の要約発表に向けての取り組み (2h)。授業の復習 (2h)。		
キーワード / Keywords	社会科教育とその周辺		
教科書・教材・参考書 / Materials	曾我謙悟 『日本の地方政府 1700自治体の実態と課題』中公新書, 2019年。 横山百合子 『江戸東京の明治維新』岩波新書, 2018年。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	課題図書を中心にして社会科教育の周辺の分野の本を読むなどして理解を深めることが有用である。 また, 今後の専門科目の基礎を学ぶので, 出来る限り欠席しないことが重要である。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	土肥大次郎, 国公立中学・高等学校の教諭
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション, 社会科教育のアプローチ
第 2 回	法律学の方法
第 3 回	法律学の基礎知識
第 4 回	外国史の方法
第 5 回	外国史の基礎知識
第 6 回	地理学の方法
第 7 回	地理学の基礎知識
第 8 回	日本史の方法
第 9 回	日本史の基礎知識, 本の要約 A 4 用紙 2 枚提出
第 1 0 回	経済学の方法
第 1 1 回	経済学の基礎知識
第 1 2 回	本の要約発表会 1
第 1 3 回	本の要約発表会 2
第 1 4 回	哲学・倫理学の方法
第 1 5 回	哲学・倫理学の基礎知識

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095533803	科目番号 / Course code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Course title	専門ゼミナール[英語] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki, Mason Shannon / Shannon Mason, 池田 俊也 / Ikeda Toshiya, 松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki, Mason Shannon / Shannon Mason, 池田 俊也 / Ikeda Toshiya, 松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館6F629共同演習室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	学校教育教員養成課程 英語専攻 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a[@]nagasaki-u.ac.jp ([]を外してください)		
担当教員研究室/Office	6 1 9 研究室 其他英語専攻教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:10 ~ 12:45		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語の諸分野について基礎的な知識を習得し、それらについての自分の考えを持ち、適切に表現できるようにする。		
授業到達目標/Course goals	各回のテーマについて、十分な知識・理解を得ること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業のねらい及び到達目標の達成度を下記の基準で判定する。 合格水準は60%である。 授業への積極的貢献 20% レポートの評価 80%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習: 授業で配布されるプリントアウトについて読み込んでおくこと(2h)。 復習: 授業で解説のあったこと、ならびに指示のあった本を読み、考えを整理しておくこと(2h)。		
キーワード / Keywords	イギリス文学 アメリカ文学 英語学 英語科教育 異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Materials	各教員より、授業中に指示がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	中学校教育コース英語専攻1年次生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語についての各専門分野の配布資料を基に、発展的読書に取り組んで下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	英語科教育について (1) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 2 回	英語科教育について (2) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 3 回	英語科教育について (3) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 4 回	アメリカ文学について (1) *Zoomを用いたオンライン (リアルタイム) 授業形式で実施。指示等はLACSでの連絡を通して行うの で、大学のメールを必ず常に確認すること。
第 5 回	アメリカ文学について (2) *Zoomを用いたオンライン (リアルタイム) 授業形式で実施。指示等はLACSでの連絡を通して行うの で、大学のメールを必ず常に確認すること。
第 6 回	アメリカ文学について (3) *Zoomを用いたオンライン (リアルタイム) 授業形式で実施。指示等はLACSでの連絡を通して行うの で、大学のメールを必ず常に確認すること。
第 7 回	英語教育・異文化理解について (1) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 8 回	英語教育・異文化理解について (2) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 9 回	英語教育・異文化理解について (3) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 1 0 回	イギリス文学について (1) 対面授業
第 1 1 回	イギリス文学について (2) 対面授業
第 1 2 回	イギリス文学について (3) 対面授業
第 1 3 回	英語学について (1) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 1 4 回	英語学について (2) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 1 5 回	英語学について (3) オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施
第 1 6 回	授業の総括及びレポートの指示な オンライン (リアルタイム) 授業形式で実施ど

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095533804	科目番号 / Course code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Course title	専門ゼミナール[数学] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島袋 修 / Osamu Shimabukuro, 杉野本 勇気 / Yuki Sugimoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	島袋 修 / Osamu Shimabukuro, 杉野本 勇気 / Yuki Sugimoto		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館4F第42講義室 / Room 42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	中学校教育コース数学専攻1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shimabukuro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	教育学部棟310号室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	文献の内容を理解し、的確に説明できる能力を身につけてほしい。3, 4年生で行われるゼミナールへの入門でもある。		
授業到達目標 / Course goals	代数学、幾何学、解析学、数学教育に関連する各自の課題に関して、文献の内容を的確に説明できる。教員からの質問に対し十分に答えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の準備をしっかりと行っていること ・教材の内容を正確に理解していること ・発表時の説明のわかりやすさ ・質問に対する答えかたが妥当であること <p>以上の観点を総合して判断する。合格点は60点。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	[予習] 翌週で扱うテーマを提示するので、それについて教科書, Web, 文献等で調べる。(2h) [復習] 授業ノートを含め講義資料等を中心に復習する。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	初回に指示する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	いかなる質問にたいしても答えられるよう、十分な準備が必要。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ く教育内容(実務経験のある教員による授業科 目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	代数学に関するゼミ
第3回	代数学に関するゼミ
第4回	代数学に関するゼミ
第5回	代数学に関するゼミ
第6回	代数学に関するゼミ
第7回	代数学に関するゼミ
第8回	数学教育学に関するゼミ
第9回	数学教育学に関するゼミ
第10回	数学教育学に関するゼミ
第11回	数学教育学に関するゼミ
第12回	数学教育学に関するゼミ
第13回	数学教育学に関するゼミ
第14回	数学教育学に関するゼミ
第15回	数学教育学に関するゼミ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095533805	科目番号 / Course code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Course title	専門ゼミナール[理科] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh, 星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 大庭 伸也 / Shinya Oba, 隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda, 山田 真子 / Yamada Masako, 林 幹大		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh, 星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 大庭 伸也 / Shinya Oba, 隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda, 山田 真子 / Yamada Masako, 林 幹大		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室 / Room 32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース理科専攻		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fukuyama-takao nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館414号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2337		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜の6校時目に研究室において		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	物理, 化学, 生物, 地学, 理科教育の各分野について, 興味・関心を持ち, 基礎的・基本的な知識と理解を獲得するとともに, さまざまな分野の話題について積極的に学ぶ能力と態度を形成する。		
授業到達目標 / Course goals	物理, 化学, 生物, 地学, 理科教育の各分野について, 興味・関心を持つことができる。 (各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各分野について興味・関心を持ち, 基礎的・基本的な知識と理解を獲得し, 積極的に学ぶ能力と態度を形成したかをレポートなどにより評価し, 6割以上達成できている場合に合格とする。 なお, 履修等に関する内規の第23条の欠席届(忌引き, 医師の診断による感染症など)以外の欠席は, 大きな減点となる場合がありますので, 留意すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	新聞記事などを参照して, 日本人のノーベル賞受賞者の功績を調べておくこと。 予習として2時間(事前に資料に目を通す等), 授業内容の復習として2時間の時間外学習によって, 授業内容の定着を図ること。		
キーワード / Keywords	理科, 研究		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜プリントなどを配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	物理, 化学, 生物, 地学, 理科教育という, 幅広い分野に興味を持ちましょう!		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス (授業担当科目責任教員)
第2回	物理学 1 (福山) 物理学とは?
第3回	物理学 2 (福山) 先端科学を体験しよう! ~カオス科学~
第4回	天文学 1 (工藤) 宇宙はどこまで広がっているのか?
第5回	天文学 2 (工藤) 天文学のすすめ
第6回	生物学 1 (大庭) 行動生態学
第7回	生物学 2 (大庭) 希少種と保全生態学
第8回	地質学 1 (隅田) 地質学の役割と日本列島の形成
第9回	地質学 2 (隅田) 地質学の役割と日本列島の形成
第10回	理科教育 1 (山田) 理科教育とは何か
第11回	理科教育 2 (山田) なぜ理科を教えるのか, なぜ理科を学ぶのか
第12回	化学 1 (星野, 林) 日本人のノーベル化学賞受賞研究 【予習】日本人のノーベル化学賞受賞研究を調べておくこと。(2h) 【復習】授業で解説された研究と人物についての配付資料を熟読し課題レポートに回答すること。 (2h)
第13回	化学 2 (星野, 林) 化学実験の基礎知識 【予習】化学実験を行う上で気を付けておくべきことを予め調べておくこと。(2h) 【復習】配付された資料を熟読し, よく理解し課題プリントに回答すること。(2h)
第14回	化学 3 (星野, 林) 化学実験の演示と科学的思考 【予習】科学的思考について調べておくこと。(2h) 【復習】授業時に行った実験 (演示も含む) について復習しておくこと。(2h)
第15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095533806	科目番号 / Course code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Course title	専門ゼミナール[保体] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 浩二 / Koji Takahashi, 河合 史菜 / Fumina Kawai, 久保田 もか / Kubota Moka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 浩二 / Koji Takahashi, 河合 史菜 / Fumina Kawai, 久保田 もか / Kubota Moka		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F113共同演習室		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	保健体育専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office	本館110研究室(高橋)		
担当教員TEL/Tel	2358(高橋)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5限(16時10分~17時40分) * オフィスアワー設定時に会議のために不在にする場合があるため、できる限り事前に予約してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、保健体育科教員としての実践力を身につけるために、教育や保健体育教科関連の基本的な事柄を知り、理解していく上で必要な心構えを学ぶ。授業を通じて、教育、体育、子供、教師、学校、地域等について考え、議論できるようになる。授業の進行は授業内容にある通りである。		
授業到達目標/Course goals	教師としての心構えと教育に対する興味・関心が深まり、それらに対する理解が得られるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・理由の如何を問わず5分の4以上の出席を必要とする。 ・授業中の態度やレポート、成果発表を総合的に評価するが、期末試験における成績を重視する。 ・期末試験では60%以上の得点が求められる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習・事後学習 ・これまでの体験や経験に基づきながら学校体育や体育教師に関する話題を提供できるようにする。(2h) ・ニュースや新聞等に取り上げられている話題をチェックし、今日の教育問題について議論できるようにする。(2h)		
キーワード / Keywords	学校体育, スポーツ, 体育学, スポーツ科学		
教科書・教材・参考書 / Materials	[教科書] なし [参考書] ・新保健体育(改訂版).大修館書店. ・授業で配付される資料 ・文部科学省・中学校・高等学校学習指導要領及び解説		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	・高校までに学習してきた体育や保健体育について、その成り立ちや変遷、将来像を議論できるようになってほしい。 ・本授業では、学校体育とプラネタリーヘルストを関連づける予定である。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	久保田 / 高等学校教諭
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	体育及びスポーツの概念と実際
第 2 回	生涯スポーツと学校体育
第 3 回	オリンピック・パラリンピック教育
第 4 回	身体及び運動の構造
第 5 回	心身の相関関係、運動と健康
第 6 回	人間にとっての運動の概念
第 7 回	運動技能の構造と運動の学び方
第 8 回	発達発達に応じたトレーニング
第 9 回	運動・スポーツのコーチング (1)
第 1 0 回	運動・スポーツのコーチング (2)
第 1 1 回	保健体育科教育における教授学習
第 1 2 回	専門職としての保健体育教師の役割
第 1 3 回	学習指導要領の理解と学習指導計画の立案 (1)
第 1 4 回	学習指導要領の理解と学習指導計画の立案 (2)
第 1 5 回	まとめ
第 1 6 回	試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095533807	科目番号 / Course code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Course title	専門ゼミナール[幼児] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 森野 美央 / Miwo Morino, 脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小西 祐馬 / Konishi Yuuma		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 森野 美央 / Miwo Morino, 脇 信明 / Nobuaki Waki		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第22講義室 / Room 22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	幼児教育コース1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	konishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	224 (小西)、225 (脇)、226 (森野)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2328 (小西)、095-819-2388 (脇)、095-819-2405(森野)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	1. 「子育てフェスタ」(長崎市保育会)におけるステージ発表 2. 身体・運動遊びによる相互交流 3. 保育現場での見学実習		
授業到達目標 / Course goals	1. 子どもの前に立ち自己表現することの基本を学ぶ 2. 身体・運動遊びの面白さを実感する 3. 幼稚園・保育園・認定こども園の独自の保育の仕組みを知る 4. 幼稚園・保育園・認定こども園の1日の生活の流れを知る 5. 幼稚園・保育園・認定こども園の保育者の仕事内容を知る 6. 自分の体験で感じたこと、考えたことを発表できる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	演習への参加状況70点、見学実習参加状況20点、発表10点、総合評価が60%以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	1. 「子育てフェスタ」(長崎市保育会)におけるステージ発表 2. 身体・運動遊びによる相互交流 3. 保育現場での見学実習 に向け、自身で時間外に取り組みが必要なることを考えて進めていきましょう。 の3種類の学びを意識し、個人あるいはグループにて事前、事後学習を進めていきましょう。(4h)		
キーワード / Keywords	ステージでの表現活動、遊び、幼稚園、保育園、認定こども園		
教科書・教材・参考書 / Materials	特になし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	幼児教育コース学生であること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	運動できる服装、上履きの準備（相互交流の回）。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション
2	ステージ準備 テーマ話し合い
3	ステージ準備 準備計画話し合いと準備
4	ステージ準備 準備
5	ステージ準備 一部リハーサルと修正
6	ステージ準備 通しリハーサルと修正
7	ステージ準備 ステージ前リハーサルと微修正
8	相互交流 遊び話し合い
9	相互交流 遊び話し合い（遊びを深めるには）
10	相互交流 遊び話し合い（遊びを広げるには）
11	見学実習 説明
12	見学実習 話し合い
13	見学実習
14	見学実習 報告会
15	見学実習 報告会（2コマ連続で行います）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095533808	科目番号 / Course code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Course title	専門ゼミナール[特別支援] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 石川衣紀 / Izumi Ishikawa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 石川衣紀 / Izumi Ishikawa		
科目分類 / Course Category	教職関連科目, カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	特別支援教育コース1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kosuket@nagasaki-u.ac.jp (高橋)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2404 (高橋)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後。後半からはグループごとの活動も増えるので、グループ担当教員の指示に従うこと。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	専門ゼミナールは、1年前期の初年次セミナーにおける、高校生活での学習スタイル(与えられた勉強・受験のための勉強)から大学生にふさわしい学習スタイル(問題発見・解決型の主体的学び)への転換を踏まえて、特別支援教育コースに入学してきた学生として専門分野に関する主体的能動的学習(見学等の体験学習を含む)を支援し、その成果を発表・共有することをねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	特別支援教育(障害児教育)に関する各自の興味・関心に基づく主体的な学びとその成果をまとめ、発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学習成果発表の発表内容、提出レポートを総合して評価する。配点は、グループ学習時の参加等の総合評価(20点)、プレゼンテーション(40点)、レポート(40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	グループ活動においては、授業の事前事後学習を重視する。毎回各自がテーマに応じた調べ学習を行い、それをもって授業で発表、発問し合いながら討議をし、修正する。その成果をもって事後学習を行い、事前学習へつなげる円環型学習を必須とする。よって、授業の事前、事後とも書く2h以上の自己学習(予習・復習)が必要となる(各回事前事後4h)。		
キーワード / Keywords	主体的学び		
教科書・教材・参考書 / Materials	特別支援教育大事典(旬報社)ほか 国立特別支援教育研究所HP (http://www.nise.go.jp/cms/)などのデータベースを参考にされたい。 。文部科学省 特別支援学校学習指導要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	特別支援教育コースでこれから学んでいく専門の入り口です。課題意識を持って取り組んでいきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 授業の進行（日程確認）、自己紹介、各係の選出・決定
第2回	図書館案内、専門図書・論文等の情報収集の方法の学習
第3回	大学で専門分野をいかに学ぶか（特別支援の教員の講話）
第4回	大学で専門分野をいかに学ぶか（特別支援の教員の講話）
第5回	大学で専門分野をいかに学ぶか（特別支援の教員の講話）
第6回	大学で専門分野をいかに学ぶか（特別支援の教員の講話）
第7回	個人の学習課題の確定とグループの決定、冬休みの課題図書（共通）の選定
第8回	グループ別学習活動
第9回	グループ別学習活動
第10回	グループ別学習活動
第11回	グループ別学習活動
第12回	グループ別学習活動
第13回	学習成果発表会
第14回	学習成果発表会
第15回	学習成果発表会
第16回	評価（レポート提出）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095534201	科目番号 / Course code	10955342
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10121_421		
授業科目名 / Course title	小学校教育入門セミナー[子ども理解] / Introductory Seminar for Elementary School Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	小学校教育コース子ども理解系1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ymaehara@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	教育学部212号室		
担当教員TEL / Tel	2386 (内線)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜3校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本授業では、現代の教育を取り巻く諸種の現象を探究するために必要な基本的知識の習得と、現象の本質や改善策を批判的に考える力を養うことを目標とする。教育学や心理学を専門とする教員のもとで文献購読を中心に行い、ときには調査、実験、事例検討、フィールドワークなどの活動を通して、ひとつの教育に関するテーマを各専門の立場から批判的あるいは実証的に検討する。最終的に学習の成果をまとめて発表し合い、ひとつの教育テーマに対する多様な異なる視点からのアプローチを体験し、教育を研究することの奥深さと面白さを実感してほしい。また、卒論発表会に参加し、自分の大学における学びのゴールを見据え、どのような学習を展開していくのかイメージをしてもらう。		
授業到達目標 / Course goals	1. 教育に関連する専門的な書籍や論文を読んで、深く理解することができるようになる。(対応DP: 各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている) 2. 教育に関する基本的な知識を身につけ、それらをもとに問題の本質を考察できるようになる。(対応DP: 自ら学び、考え、教育の現代的課題に対応することができる) 3. 教育における現象を多角的な視点から批判的に考察できるようになる。(対応DP: 自ら学び、考え、教育の現代的課題に対応することができる)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	文献購読などのグループ活動(90点) + 成果発表会でのプレゼンテーション(10点) = 合計100点のうち、60点以上を合格とする。グループ活動では、教員の課した活動を受動的にこなすだけでなく、より深く学習しようとする能動的かつ積極的な授業参加態度も評価に含まれる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】自分が担当する文献発表の準備に相当な時間を要する(約30時間)。また、他のメンバーが発表する文献を事前に読んでおく必要がある(6時間×5本)。 【事後学習】自分が発表した文献に関連するトピックや、他のメンバーが発表した文献の中でわからなかったことや興味を持った事項に関して、本やインターネットで詳しく調べる(5時間×6本)。		
キーワード / Keywords	教育, 学校, 子ども, 研究, セミナール		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は特に指定しない。文献購読に使用する書籍や論文は各教員から指定がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	初めて専門的研究の入口に足を踏み入れる授業になると思います。文献購読やその他の探究活動はときに複雑で難解なこともあるかもしれませんが、その壁を乗り越えることを楽しんで、粘り強く取り組んでほしいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	内野成美 / スクールカウンセラーとして児童生徒の教育相談や現場の教員の助言・指導に携わってきた。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	全体オリエンテーション
第2回	グループ分けと自己紹介, 担当教員の研究紹介, 活動の概要説明
第3回	文献購読や実証的探究活動
第4回	文献購読や実証的探究活動
第5回	文献購読や実証的探究活動
第6回	文献購読や実証的探究活動
第7回	文献購読や実証的探究活動
第8回	文献購読や実証的探究活動
第9回	発表準備
第10回	発表準備
第11回	学習成果発表会
第12回	学習成果発表会
第13回	学習成果発表会
第14回	小学校教育コース卒論発表会への参加
第15回	小学校教育コース卒論発表会への参加

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095534202	科目番号 / Course code	10955342
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10121_421		
授業科目名 / Course title	小学校教育入門セミナー[教科授業開発] / Introductory Seminar for Elementary School Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki, 三上 次郎 / Mikami Jirou, 藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kniya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部620室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月 5		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本授業では、長崎大学教育学部の学生として、これから携わっていく教育や学校、子どもに関する自らの視野や見識を広め、今後の大学での学びに生かす視点や方法を身につけるとともに、教師としての資質・能力の基盤を育むことを目的とする。課題探究的な協働学習を中心に、実際に県内外の先進的な教育活動を行う学校現場を視察・調査し、最終的に得られた知見や学びを全体場で発表する。視察校への連絡や宿泊・交通の手配など、できる限り学生自身が主体的に活動できる場を設け、小学校教育コース教科授業開発系で学ぶ仲間と互いに刺激し関係を深めながら、教師となる意志や自覚を高められるようにする。		
授業到達目標 / Course goals	教育的活動や知的活動への動機づけを高め、教育的・科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、課題探究や視察・調査に関するデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションなど協働的活動を通じて適切な自己表現能力などの基礎を身につける(教職や教科に関する専門的知識・技能を身につけている)。先進的教育活動を行う学校現場への視察・調査を通して、小学校での教科授業を中心とした教育的活動における児童への指導や支援の見方・考え方、並びに本学部・系での学びや教職への関心・意欲を育む(各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修・資料収集、十分な思考と理解に対する調査・観察・記録、話し合い活動への積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポートや計画等の報告20点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	前時の学習内容・活動を振り返るとともに、本時の学習に向けての自分なりに活動への見通しや課題を設定する(2時間)。事後学習として、本時の活動内容や学びを基に、発表に向けて獲得した知見を整理したり、個人分析やレポート作成などの課題に取り組んだりする(2時間)。		
キーワード / Keywords	初年次教育、小学校教育、課題探究・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	将来、教師として歩む上での資質・能力の基礎を育みながら、教育学部の学生として大学で学び、小学校教育の教科授業開発系で学ぶ意欲を高め見通しがもてるよう、主体的・協働的に取り組むことを望みます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス（自己紹介、本講義の趣旨・授業計画の説明、グループ分けなど）
第2・3回	事前学習（視察を行う学校の情報収集、追究する課題の設定、課題追究の内容・方法についての検討、観察、記録、分析を行う上での視点と方法の確認など）
第4~9回	授業研究などの先進的取り組みを行う学校の視察・調査（観察・記録、個人分析）
第10・11回	発表の準備（調査内容の協働的な分析・まとめ、発表計画、プレゼンテーション・発表資料の作成）
第12・13回	調査報告会
第14・15回	卒論発表会への参加（各自の発表方法との比較・分析、活動のふりかえり、今後の見通し）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095534203	科目番号 / Course code	10955342
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10121_421		
授業科目名 / Course title	小学校教育入門セミナー[離島・地域文化] / Introductory Seminar for Elementary School Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平瀬 正賢 / Hirase Masatake, 三上 次郎 / Mikami Jirou, 倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	平瀬 正賢 / Hirase Masatake		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	平瀬 正賢 / Hirase Masatake		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	小学校教育コース離島・地域文化系		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masa-i@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館5階510室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2390		
担当教員オフィスアワー / Office hours	(前期) 火曜15:00 ~ 16:00 (後期) 火曜11:00 ~ 12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講義は小学校教員養成にかかわる学生が、離島・へき地教育、国際理解教育、授業におけるICT活用についての重要性を体験から理解することがねらいであり、小学校教育コースの離島・地域文化系の導入的位置付けの内容である。		
授業到達目標 / Course goals	長崎県の実態を踏まえた離島・へき地教育、国際理解教育、授業におけるICT活用についての重要性および必要性を具体的に説明することができるようになる。(各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	合格水準 各パートのレポートの評価を総合的に判断する。 各パートは、授業に取り組む態度20%、レポート80%とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	各パートでの指示に従って、予習・復習を行う。(各2h) LACS等の情報に注意すること。		
キーワード / Keywords	離島・へき地教育、国際理解教育、授業におけるICT活用		
教科書・教材・参考書 / Materials	担当の教員による提示を行う。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	教育におけるICT活用について (講義形式)
第3回	離島・複式教育について (講義形式)
第4回	長崎県の離島・へき地教育の実態分析 (演習)
第5回	長崎県の離島・へき地教育への訪問計画と準備 (演習)
第6回	長崎県の離島・へき地の学校における訪問及び活動 (演習)
第7回	長崎県の国際交流事業の実態分析 (演習)
第8回	長崎県の国際交流事業へのサポート計画と準備 (演習)
第9回	長崎県の国際交流事業でのサポート活動 (演習)
第10回	発表準備
第11回	発表準備
第12回	発表会
第13回	発表会
第14回	卒業論文発表会参加
第15回	卒業論文発表会参加

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201095559801	科目番号 / Course code	10955598
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10021_412		
授業科目名 / Course title	教育心理学 / Educational Psychology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加来 秀俊		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加来 秀俊		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加来 秀俊		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館1F第11講義室 / Room 11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kaku@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部 2階 (222室)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 3校時。その他の時間を希望する場合は、メールにて問い合わせのこと。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	児童・生徒への指導と援助を適切に遂行するには、児童・生徒の心身の発達、学習のメカニズムや動機づけ、健全なパーソナリティ等に関する教育心理学的知識についての習得が必要とされる。教育現場での課題を取りあげ、教育の実践に役立つことを視野に入れて考え、教育心理学の基礎と実践を学ぶ。テーマにより視聴覚教材を利用して、アクティブラーニングを取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	教職を志す者にとって重要なポイントである、(1)教育の対象である幼児、児童・生徒の発達について、(2)教育の背後にある学習の過程と動機づけについて理解する。また、それらが教育の実践とどのようなかかわりを持つのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	コメントシート課題 (2点 x 15回 = 30点) + レポート課題 (10点) + 定期試験 (60点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習、復習に教育心理学に関連するキーワードをノートにまとめていく。		
キーワード / Keywords	発達、教授・学習、パーソナリティと適応、測定評価		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書は必要に応じて紹介する。参考資料は必要に応じて配付する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	講義後にコメントを求め、課題についてレポートを提出してもらうことがある。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育心理学とは
第2回	子どもの発達と教育
第3回	発達のプロセス
第4回	学習の心理
第5回	教授・学習過程
第6回	学習の動機づけ
第7回	パーソナリティ理論
第8回	パーソナリティと適応
第9回	知能と学力
第10回	知能検査
第11回	教育評価
第12回	学級集団の力学
第13回	発達障害とは
第14回	発達障害児の心理と教育
第15回	子ども理解と教師の心理
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20201095569401	科目番号 / Course code	10955694
科目ナンバリングコード / Numbering code	EDMC 10111_424		
授業科目名 / Course title	特別な教育的ニーズの理解と支援 [2019] / Understanding and Support of Special Educational Needs		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	(代表) 吉田ゆり yuyoshida@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	教育学部220研究室 (吉田)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2394 (吉田)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	吉田 月曜日12:00-12:50 石川 火曜日10:30-12:00 高橋 木曜日8:50-10:20 鈴木 金曜日12:10-12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	特別支援教育の対象である視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱のみならず、発達障害や軽度知的障害、虐待・マルトリートメントや貧困、外国籍等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の発達及び特性、教育的ニーズを把握し、教育課程・支援方法について理解するとともに、関係機関や保護者との連携のあり方を含めて概括する。		
授業到達目標 / Course goals	特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解し、その教育課程や支援の方法を理解することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	振り返りレポート (毎回) 8 5点 = 40点 (40%)、総合レポート60点満点 (60%) = 合計100点の内60点以上を合格とする。ただし、振り返りレポートの提出がなく、総合レポートのみでは60点にはならないので留意すること。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習 オリエンテーション時に示された障害児教育やインクルーシブ教育、発達障害、虐待、貧困、帰国児童、外国籍の児童生徒といったキーワードについて報道や周囲の状況、事故の経験に照らし合わせて考えをメモでもいいので言語化しておくことを望む (2h) 事後学習 テキスト (発行予定) と配布された資料を再読し、理解を確実にするように努めること (2h)		
キーワード / Keywords	特別支援教育 インクルーシブ教育		
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト: 別途指示する。テキスト発行予定。 基礎資料: 特別支援学校学習指導要領及び解説		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	必修のため特になし。		

<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考（URL）/Remarks（URL）</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>教育現場において、特別なニーズを念頭に置いた教育はどんな子どもも対象にしています。配慮や支援が必要となる子ども達は、特別な存在ではありません。教員を目指す皆さんには誰にでも必要な知識と態度を涵養する、基礎的な授業として捉えています。</p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）</p>	<p>Y</p>
<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	<p>吉田ゆり / 病院（児童精神科、小児神経科外来）（横浜市総合リハビリテーションセンター）の臨床心理士として医師の指示の元、発達・知能検査他検査や観察など診察補助及び個別面接（経過観察）を担当。また、療育手帳発行のための資料作成を行った（1年間）。 児童発達支援事業所における専門スタッフ（臨床心理士）として保護者の相談と療育への助言指導を実施（鹿児島市）（10年間） 公立中学校特別支援学級に指導補助員として勤務（再掲） 公立小学校・中学校特別支援学級に言語指導員（ST）として勤務（東京都調布市立野川小学校、神代中学校）（3年間） スクールカウンセラーとして小学校及び中学校に勤務（鹿児島市）（10年間） 附属学校園の特別支援教育コーディネーター連絡会における顧問として指導助言を行う（長崎大学） 発達障害の可能性のある幼児・児童・生徒の相談及び個別支援、及び学校の特別支援教育体制構築への指導助言を担当（長崎大学附属学校園）（5年間） 児童養護施設における専門スタッフ（心理職）のスーパーバイザーとして勤務 大学附設心理臨床相談センター臨床心理士として、幼児、児童、生徒、青年期、成人期の心理的諸問題に対する心理支援を担当</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回（日時） / Time（date and time）</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>インクルーシブ教育システム及び特別支援教育の制度（石川）</p>
<p>第2回</p>	<p>発達障害のある幼児、児童及び生徒の発達の特性（高橋）</p>
<p>第3回</p>	<p>発達障害等のある幼児、児童及び生徒の教育的支援（高橋）</p>
<p>第4回</p>	<p>障害のある幼児、児童及び生徒の学習と生活（鈴木）</p>
<p>第5回</p>	<p>特別支援教育の教育課程（1）通級による指導・特別支援学級（石川）</p>
<p>第6回</p>	<p>特別支援教育の教育課程（2）特別支援学校（石川）</p>
<p>第7回</p>	<p>地域支援・保護者支援と関係機関の連携（吉田）</p>
<p>第8回</p>	<p>教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒への支援（吉田）</p>